

企業名： 朝日工業社

レポート名： コーポレートレポート 2022

1. この会社が目指している将来の姿が理解できるか

P07以降、未来像として「魅力ある会社・職場づくりの推進」「将来に向けた経営 基盤の強化」「利益重視の徹底」の3つを基本方針に掲げていることから、将来の姿は理解することができた。しかしながら、Q&A形式にしていることで、単調な文章のように感じた。強調したい部分をもう少し目立たせたり、質問の量を減らしたりするほうが、よりコーポレートレポートの趣旨に沿った内容になると感じた。一方で、P11,12のような構成は一目で理解しやすく、一言で未来像を述べているのが分かりやすいと思った。キャッチコピーが分かりやすく、これから何について記述するのかという点が明瞭である点は素晴らしいと思う。しかし、経営理念や未来像が少し抽象的な気がした。前半部分から具体的な目標を明示して、現状をデータ等で説明するなど、説得力のあるレポートが求められているのではないかと私は考える。

2. この会社の現在の競争優位性が理解できるか

一部理解できる。環境に配慮しているという点を前面に押し出しているように感じた。技術の発展に伴って環境問題も解決しようという意志の強さがうかがえる内容だと思った。数ページにわたり環境問題への取り組みを記述しており、強みを積極的にアピールしていて好感が持てた。ところで、同業他社と比べて臭気対策を先行して行い、技術を発展させてVOCやオイルミストへの対策技術を製品化して提供したという記述があったが、ここはもう少し強調して伝えても良いと思う。機器製造販売事業の詳細な内容が複数挙げられていた点はよいと感じたが、機器に関する情報で、他社と比べて優位である点にあまり目が行き届かなかったため、もう少し記述しても良いと思う。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

理解できる。井水熱を利用した効率のよい冷暖房を整備することで、安定性のほかに環境面での持続性も確保していてよい取り組みだと思う。SDGsをはじめとして、フロン対策や気候変動に対するリスクの程度を十分に把握していて、それぞれの問題に対応策を想定しているのは、持続可能な開発を推進しているという点で他企業と比べても優位にたっていると考えられる。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

できると思う。前半に「魅力ある会社・職場づくりの推進」という言葉が登場していたが、

P47以降では、従業員の人材育成や働きやすい職場づくりに関して言及していた。人材育成によって、1人1人の能力やスキルの向上を図っているのは、人的資本の向上に直結すると思う。また、ある程度の多様性は人的資本の向上に役立つことが知られているが、職場内でのダイバーシティに関する数値を明示していたのが説得力を増す要素であるように感じた。その他にも、ワークライフバランスへの取り組みや定期健康診断の実施といった、従業員の健康状態に気遣っているというのは、職場環境の良好さを表していると思うし、何より人的資本の価値向上に直結する要素だと感じる。また、社会貢献活動も行っており、社員の道徳的・倫理的な感性を錬磨するとともに支援が行えるのは素晴らしく、今後も続けてほしいと思う。

5. 報告書のよかった点はどこか、どのような改善余地があるか

全体的に読みやすい構成であり、大きく改善すべき点は特には見受けられないように感じた。また、図が多く用いられていたのは説得力を増す要素として良いと思ったし、画像も必要に応じてしっかりと用いられていたため、理解には困らない内容であったように感じる。しかしながら、気になる点がいくつか見受けられた。まず、企業理念が英語で大きく記述されていた部分が少し読みづらいと感じた。企業の核ともいえる理念をわざわざ英語にしても、読む日本人の大多数にとってはあまり意味を成しているとは思えない。ここは日本語で記述するのがふさわしいと考える。3単語で理念を収めてしまうのももったいないように感じる。また、部分的に抽象的な部分が見受けられたのは改善したほうが良いと感じる。指針や戦略にもう少し具体性を持たせたほうが、方向性を維持できると感じる。その他の意見は1~4に適宜記述した。総合的には非常にわかりやすい内容で、簡潔にまとまっていたと思う。